



梅田だより

茅ヶ崎市立梅田小学校 TEL85-1125

めざす児童像「やさしく かしく たくましく」

令和7年10月31日

11月号

NO. 632

校長 大久保仁晶



あいさつは「魔法の言葉」

東門のそばには大きな丸いドングリが見かけられ、子どもたちもドングリを楽しんでいます。また、くじら池のそばのイチョウの木も色づき始めてきました。気温差が大きく、何だか秋がなく、一気に冬？という感じです。体調管理が難しい季節です。栄養と休養をとって、健康に過ごしてください。寒くなってきて、ポケットに手を入れての登下校の姿が見かけるようになりました。倒れたときに危険なので、気をつけましょう。

さて、後期が始まって、運営委員会の皆さんが「朝のあいさつ運動」をそれぞれの門で行っていました。あいさつが少ないことに気づき、あいさつを習慣づけるために「自分たちからあいさつをしよう」となったの行動です。はじめは、お互い緊張や照れがあったようですが、「おはようございます」のあいさつを重ねることで、次第にほぐれていったようです。やってみて、「あいさつを返してくれると嬉しい」「返してくれないと悲しい」という委員会の感想があり、このあいさつ運動をきっかけにあいさつをする子が増えてくれると、と願っています。

さて、なぜあいさつは必要なのでしょう？あいさつをするのは当たり前、と考えている人もいれば、あいさつなんて…と考えている人もいるかもしれません。「挨拶」は「心を開き、その心に近づく」という意味を持っています。「特別の教科 道徳」にもその大切さが書かれています。



お手製のたすきもよかったです。

B 主として人との関わりに関すること 9 礼儀

〔第1・2学年〕気持ちのよい挨拶，言葉遣い，動作などに心掛けて，明るく接すること。

〔第3・4学年〕礼儀の大切さを知り，誰に対しても真心をもって接すること。

〔第5・6学年〕時と場をわきまえて，礼儀正しく真心をもって接すること。

礼儀は、相手の人格を尊重し、相手に対して敬愛する気持ちを具体的に示すことであり、心と形が一体となって表れてこそ、そのよさが認められる。つまり、礼儀とは、心が礼の形になって表れることであり、礼儀正しい行為をすることによって、自分も相手も気持ちよく過ごせるようになる。（小学校学習指導要領 解説 特別の教科 道徳）

あいさつをすることで、印象のよさを与えたり、話のきっかけになったりしたことは、皆さんも経験済みではないでしょうか？地域の皆さんも登下校の見守りなど、皆さんのあいさつに元氣をもらえと言っています。ご家庭でもあいさつへの協力をよろしくお願いします。

4年生の理科を教えていた杉山教諭に代わり、井上貴代教諭が復帰となります。引き続き、4年生の理科の担当となります。